



TDA交流イベント 2017

TDA サロン 『日本のいろ・まちのいろ』

主催：景観デザイン支援機構（TDA）

東京オリンピック・パラリンピックを迎え日本の伝統、文化に関心が集まりだしてきています。そこで今回は「日本のいろ・まちのいろ」をテーマに騒色化した景観色彩への問題提起を行いたいと思います。

日本では古来より暮らしの中に多彩な色合いを取り入れ、繊細な色の世界を見出し、その豊かな情趣を愛でてきました。また、自然との調和や地域文化、伝統、お祭りを意識した景観色彩のあり方について皆さんと考えてまいりたいと思います。

日時：2017年5月10日（水） 18：15～20：15（開場 18：00）

会場：台東区立浅草文化観光センター 大会議室（東京都台東区雷門2丁目18番9号5階）

資料代：会員 500 円、一般 1,000 円、学生無料（定員 50 名・先着順：4/27×切）

※サロン後、懇親会を予定しています（懇親会参加費 3,500 円程度、会場未定）

□話題提供

うおたまさみ氏（色彩計画家／日本の色プランナー）

経歴 ■京都市出身。京都嵯峨芸術大学、東京文化服装学院卒業後、坂井直樹氏主宰の企画会社ウォータースタジオ（現・ウォーターグループ / 株式会社ウォーターデザインスコープ、ブランドデータバンク）に入社。繊維製品にとどまらず、非アパレル製品の企画開発に携わる。1985 年、有限会社コムアークを設立。その後も様々な企画業務を行ってきた。現在は、日本の色彩についての企画立案、色彩に関する社員研修などの分野に力を入れ取り組んでいる。2016 年 11 月より、日本の伝統色を一日一色紹介するコラム「色いろいろ」を地方新聞にて執筆中。京都嵐山在住。

■有限会社コムアーク代表取締役

■1級色彩コーディネーター／ICD 国際カラーデザイン協会認定カラーアナリスト／日本色彩学会 正会員



吉田 慎悟（色彩計画家／武蔵野美術大学 教授／(有)クリマ代表／TDA 理事）

経歴 ■川崎市生まれ。

武蔵野美術大学基礎デザイン学科卒業

卒業後渡仏、J.Ph. ランクロ教授のアトリエで環境色彩計画を学び、環境色彩調査の手法を確立。

■実績：ヨーロッパの環境色彩調査、広島大学キャンパス計画色彩調査、新百合丘駅周辺色彩基本計画、横須賀ウェルシティ外装色彩計画、東京都環境色彩調査・色彩基準策定、中国無錫市環境色彩計画、狭山市駅西口駅前再開発事業色彩調整など

■著書：『まちの色をつくる…環境色彩デザインの手法』（建築資料研究社）、『景観法を活用するための環境色彩計画』（丸善）、『景観からのまちづくり』（学芸出版社）、『色彩計画ハンドブック』（共著、視覚デザイン研究所）、『環境色彩デザイン—調査から設計まで』（共著、美術出版社）、『景観からのまちづくり』（共著、学芸出版社）、『都市のデザイン—きわだつからおさまるへ』（共著、学芸出版社）など



□司会進行

西田 幹（株）デジタルキアロ副社長／TDA 理事）

申込：TDA 事務局宛にメールにて、サロン・懇親会参加の有無を明記してお申し込みください

※定員制につき先着順とさせていただきます。キャンセルの場合も必ずご連絡ください

メールアドレス：main@tda-j.or.jp